

第34回年次大会を開催

連合岩手花巻北上地域協議会（議長 高橋信秋）は11月15日花巻市定住交流センター なはんプラザ（COMZホール）にて第34回年次大会を開催しました。



代議員49名（委任状含む）出席のもと、大会議長に自動車総連から臼井千晃代議員と電力総連から畠山拓昌代議員が選出され大会を進行していただきました。

冒頭の地協議長挨拶では高橋議長より、コロナ禍や物価高騰による経済への影響などの情勢に触れ、「感染対策と社会経済活動の両立に日々努力する働く仲間に敬意を表し、皆さんの意見を基に新年度の活動を進める」と挨拶。

来賓は、今年も連合岩手のみとし、佐々木正副会長と鈴木圭事務局長、今野善文副事務局長が出席。

代表して鈴木事務局長が、コロナ禍となって3年目であるので少しずつ運動を戻すよう努力しており、経済を回しながら様々な活動を以前の水準に戻していく事が大事だと感じている。物価高の、流れはしばらく止まらないだろうと思う。本部は春闘方針について5%の賃上げを予定しており、いずれ賃金を上昇させるためには、企業の収益も上げる事が必要で、中小企業がしっかり商品を価格に転嫁出来る仕組みづくりを連合として求め、この年末には「生活困窮者対策」として行政への緊急要請を展開していきたいと思っている。



また、来年は統一地方選が行われる。組合員が議員と接する機会を通じて、政治に関心を持って頂き、私たちの声を届けてくれる議員を応援してゆく、そういった流れを作っていく必要があると思う。と挨拶がありました。

活動報告では新体制となったこの一年の経過と決算を報告し確認。

議事の2023年度運動方針、2023年度予算、役員の一部補充について、全ての議案が満場一致で確認。

地協の団結を誓い合い閉会しました。

